

# イザベルと妖精の騎士

- 1 美しいイザベルが部屋で縫物していると  
      きれいなヒナギク  
      妖精の騎士の吹く角笛が聞こえてきました  
      五月の最初の朝
- 2 「聞こえてくるあの角笛を手に入れて  
      きれいなヒナギク  
      あの妖精の騎士をわたしの胸に眠らせたい」  
      五月の最初の朝
- 3 イザベルが言い終わるか終わらぬうちに  
      きれいなヒナギク  
      妖精の騎士が窓辺に現れました  
      五月の最初の朝
- 4 「不思議なことがあるものです  
      あなたがわたしを呼ぶと 角笛が吹けません  
      五月の最初の朝
- 5 「むこうの緑の森へ行きましょう  
      きれいなヒナギク  
      歩けなければ 馬に乗せてあげましょう」  
      五月の最初の朝
- 6 騎士は馬に飛び乗って イザベルは別の馬に乗り  
      きれいなヒナギク  
      いつしょに 緑の森へ行きました  
      五月の最初の朝
- 7 「さあさあ降りろ イザベルよ  
      きれいなヒナギク  
      ここでおまえに死んでもらおう」  
      五月の最初の朝
- 8 「お情けを お情けをお与えください  
      きれいなヒナギク  
      もう一度お父様とお母様に会わせてください」  
      五月の最初の朝
- 9 「ここは 七人の王の娘を殺したところ

きれいなヒナギク  
おまえは八番目に殺されるのだ

五月の最初の朝

「しばらくわたしの膝を枕にお休みなさい  
きれいなヒナギク  
わたしが死ぬのはしばらく休んでからにして」  
五月の最初の朝

11  
しきりに髪をなでられて 騎士は体を寄せました  
きれいなヒナギク  
小声で呪文をとなえられ 騎士はぐつすり夢の中  
五月の最初の朝

12  
刀帶ベルトで 騎士をしつかり縛り上げ  
きれいなヒナギク  
短剣で 深く突き刺しました  
五月の最初の朝

13  
「もしもここで七人の王の娘を殺したのなら  
きれいなヒナギク  
皆さん夫として どうぞ ごゆつくり」  
五月の最初の朝

(山中光義訳)